



NEWS

VOL.
180

平成29年10月発行



タイ交換留学

訪問 平成29年7月23日(日)～8月3日(木)

受入 平成29年9月2日(土)～9月10日(日)

今年で2回目となるカセサート大学附属学校(通称:サティカセ)との交換留学に5名の生徒が参加しました。

サティカセのあるバンコク市は世界中から人々や企業が進出している経済の中心地で、中心部には高層ビルが立ち並び、異なる文化的背景を持つ多くの人々が共存しています。そのなかでタイの人々は、自国の歴史、文化、伝統への高い誇りを持ち、国家、仏教、国王に常に敬意を払い、生活しています。5名の生徒たちは、このような独自の近代化を果たし、世界からも魅力ある国として注目されているタイについて、歴史や地理、文化に関する研究テーマを各自設定し、渡航前から研究を進め、課題意識を持って交換留学に臨みました。

サティカセへの訪問は、空港内での歓迎式に始まり、晩餐会、各ホームルームでの歓迎会などが盛大に催されました。さらに今年は、日タイ修好130周年の節目ということで、その特別記念行事も行われ、生徒たちはこの日に向けて一生懸命に練習したタイ語でのスピーチを堂々と行いました。

学校生活では制服と体操服が用意されており、サティカセの一員として受け入れてもらっていると感ずることができました。通常の授業以外に

も、音楽や舞踊、料理などタイの伝統文化を体験するアクティビティが多く用意されており、アユタヤの世界遺産群を訪れる機会もありました。さらに研究テーマの現地学習として、研究内容のプレゼンテーションと質疑応答を英語で行い、楽しく学びの多い充実した日々を送ることができました。

学校やホームステイ先では、お互いに母国語ではない英語を使ってコミュニケーションをとります。日本とは異なる文化にとまどうこともありますが、12日間にわたるタイでの生活や交流を通して、タイの方々の温かさやきめ細やかなおもてなしの心を随所で感じ、視野を大きく広げることができました。

また、9月にはサティカセ生が本校を訪れ、3年生のホームルームに入り、生徒たちとともに過ごしました。9日間という短い期間でしたが、学校では華道や茶道、書道など日本の伝統文化体験や、平和公園への訪問等、アクティビティが目白押しでした。通常授業や交流会などを通して、交換留学生だけでなく、多くの生徒たちと文化交流ができ、異文化理解と友好をより深めることができました。

私の研究テーマは「日本とタイにおける英語教育の比較」でした。日本で事前に調べたことを基に、タイで実際に確認しましたが、サティカセ生の英語への興味・関心の高さにとっても驚きました。またホストファミリーは、「おもてなしの心」が世界一なのではないかと思うほどとても気を遣ってくれました。人として他人に対し、常におもいやりの心を持つという当たり前のことを改めて学び、また、目上の人々に対して礼儀を尽くすということも学びました。

他にも日本では想像できないタイならではの文化や習慣もありましたが、驚きながらも楽しむことができて良かったです。私たちや日本のことについて興味を持っていてくれる人がたくさんいて、多くの友だちを作ることができました。どんな国でも、その国ならではの生活スタイルを学び、コミュニケーションをとることが大事だと思いました。

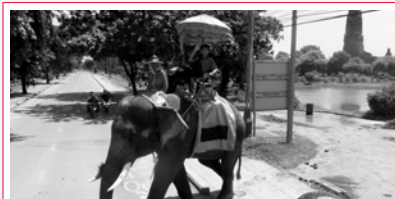
3年2組 小森 詩歩子

同じアジアに属する国同士でも、文化は全く異なっていました。異文化をしっかりと学びたいという目的でこの交換留学に参加しましたが、社会科が好きな私は、タイの文化だけでなく、地理や歴史も実際に学ぶことができました。寺院一つを見ても、日本のものと造りが違っているなどの発見がたくさんありました。また、日本や以前訪れたことのあるニュージーランドとは全く違った習慣・文化に触れ、体験することもできました。留学中は疲れてしまう場面もありましたが、この疲れは他国の文化を良く学ぶことができた証ではないかと考えています。タイならではの魅力を感じることができたこの交換留学の経験から、これからはもっとたくさんの文化を学び、他国の文化を尊重し合うということを今後活かしていきたいです。

3年4組 遠山 琢哉



民族衣装を着ました



アユタヤでの体験



英語での研究発表



アユタヤ世界遺産群の中で

CONTENTS

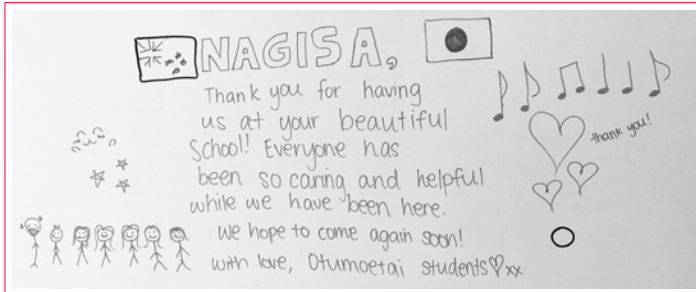
- 3年タイ交換留学 1
- 4年オツモエタイ高校留学生なぎさステイ 2
- 4年ニュージーランド語学研修 2
- 2年ニュージーランド交換留学 2
- 5年研修旅行/パラオコース 3
- 5年研修旅行/日本一周?コース 3
- 5年研修旅行/屋久島・エコプログラム体験コース 3
- 1年夏遠足 4
- 挑戦することにわくわく 4
- オープンスクール 5
- 第53回文化祭Information 5
- TOPICS 6
- CLUB NEWS 6

4年オツモエタイ高校留学生なぎさステイ

平成29年7月1日(土)～9日(日)

オツモエタイ高校は本校4年生が3週間の語学研修で訪問する学校です。今年もニュージーランドのタウンガにあるオツモエタイ高校から6名の留学生が本校にやって来ました。今年はずりせぬ天候不良により、工場見学や蕎麦打ち体験が中止になり、急遽、大和ミュージアム見学へ変更するなど様々なアクシデントがありました。しかしオツモエタイの留学生たちはいつもフレンドリーで、各学年にまたがる授業参加先でも気軽にコミュニケーションを取

り、交流会や七夕茶会、書道など放課後のプログラムでは両校の生徒が楽しみながら交流を深めていきました。お互いにとってとても有意義な1週間になったようです。たとえば言葉が十分話せなくても、コミュニケーションをはかろう、理解を深めようというその姿こそが「国際交流」の出発点なのだと改めて感じることができました。



留学生からのメッセージ



出会えたことに感謝

4年ニュージーランド語学研修

平成29年7月22日(土)～8月13日(日)

4年生25名が20日間、ニュージーランドのタウンガにあるオツモエタイ高校を中心に語学研修に参加しました。生徒は、バディやホストファミリーと過ごす生活に慣れていくとともに、毎日高校に通い、バスの乗り方や授業の受け方など、様々な場面で直面する「異文化」に触れ親しんでいきました。また、英語が伝わったときの喜びを感じる一方で、気持ちを伝えたくても上手に伝えられないというもどかしさも感じていました。出会った人々との交流を糧にして更なる英語学習につなげて欲しいと思います。



3週間ともに過ごした仲間たち



授業の様子



ニュージーランドのホームステイではマジックワードの“Thank you”をたくさん言うことを自分なりに心掛けた。私の2人のホストシスターは、お母さんやお父さんに何かしてもらおうと必ず“Thank you”と言っていることに気づきました。さらに、ホストマザーがホストシスターに食事の追加を勧めた時に、“No”だけ言うと言われ“No, Thank you”と言い直していることに驚きました。私は、日本で家族に何かをやらしてもらおうことが当たり前のようになっていて、「ありがとう」という大切な言葉を言い忘れていたように思います。身近な人にも感謝の気持ちを忘れないことは大切なのだと改めて実感しました。

4年1組 藤田 咲

2年ニュージーランド交換留学

平成29年7月23日(日)～8月7日(月)

5月にパサデナ中学校からの交換留学生を迎え、この夏にオークランドにあるパサデナ中学校に行きました。日本と違う点や似ている点を感じながら、学校での授業やマオリの文化、広大な自然やたくさんの動物と触れ合いました。パサデナ中学校での最後の日には、なぎさ生が平和の朗読やソーラン節の発表で心を一つにし、素晴らしい発表ができました。パサデナ生や、先生方のあたたかさを感じる有意義な交換留学となりました。



経験と思い出が詰まった修了証書



自分たちの課題に取り組む授業

日本では、節目に対して式を行います。学校では、朝礼や終礼などがありますが、ニュージーランドにはありません。そういった違いを視点にすると、一つ一つの事が日本の文化として大切だと改めて感じることができ、見直すことができました。また、マオリの文化を学ぶことで、異文化を肌で感じる事ができました。挨拶のHongi(おでこ鼻をくっつけて握手する)をすることで、コミュニケーションをとるきっかけになり、バディ以外の人も仲良くなれ、親交を深めることができました。私は、この交換留学でコミュニケーションの大切さを学びました。

2年6組 中川 美桜子

5年研修旅行／パラオコース

平成29年7月23日(日)～29日(土)

日米の戦跡がまだまだ生々しく残るペリリュー島で、戦争が生み出した悲惨さについて説明を聞き、平和を維持することの重要性について考えました。また、コロール州の環境問題を解決するためにリサイクルセンターを立ち上げた日本人、JICAボランティアで小学校教育に取り組む日本人、海中の爆雷処理を行うJMASの方々など、パラオの問題に取り組む多くの日本人とも交流しました。日本の技術がここパラオでいかに活用されているのかを実感しました。そして海洋研修を行い、世界に誇るパラオの美しい海を満喫しました。



ペリリュー島の千人洞窟



現地の小学校を訪問

パラオのペリリュー島では戦跡を目の当たりにしました。中でも千人洞窟には、兵士が使っていた瓶や皿や布がそのまま残っており、その様子は生々しく、今にも兵士の声が聞こえてきそうで恐ろしかったです。私は被爆地「ヒロシマ」に生まれた人として戦争の悲惨さを学んできましたが、パラオでの平和学習を通して、傷つけられた歴史だけでなく傷つけた歴史もあることを認知しました。戦争を繰り返さないためにもきちんと後世に伝えていくべきだと思います。 5年3組 徳本 真衣子

5年研修旅行／日本一周!?コース

前半 平成29年7月23日(日)～29日(土) 後半 平成29年8月2日(水)～8日(火)

今年度で3度目になる「日本一周!?」コースは、北は北海道、南は鹿児島県まで、主に青春18切符で鉄道の在来線を利用した移動で、日本の各地を訪れるコースです。食文化、歴史、言葉、気候などの日本の多様性について五感を通して感じ、理解を深めることを目的としています。5年生36名が参加し、前半行程と後半行程に分かれて実施しました。

昨年同様、後半行程では、天候が懸念される日もありましたが、前半・後半とも、日程通りの行程を踏むことができ、全員無事に広島に帰ってくることができました。この旅行を通して、日本各地の風土を肌で感じました。また、自分の郷土に対する感じ方や考え方を深めることができ、学びの深い旅行となりました。



最南端の駅



異国情緒を感じる神戸

それぞれの都道府県によって時間の流れや雰囲気、気候が違うということを感じました。また、小さな日本でも方言がたくさんあることに驚きました。特に会津若松では、聞き慣れない言葉がありました。私は、日本は狭くもあり、広い国だと感じました。 5年1組 荒木 璃音

このコースは、あらかじめ、自由行動で行く場所を考えておかなければならないし、また、状況によって臨機応変に行動をしなければならぬので、自己管理の大切さを強く感じました。一生でこのような短期間で、主に在来線に乗って回るなど、もうないことだと思います。この貴重な体験をこれからの人生に活かしていきたいです。 5年2組 戸田 侃吾

5年研修旅行／屋久島・エコプログラム体験コース

平成29年7月24日(月)～28日(金)

知覧特攻平和会館での平和学習と、屋久島での自然体験を行いました。知覧特攻平和会館では、語り部の方の講話を通して遺書や特攻隊員一人一人の想いを知り、今の自分たちの生き方や平和について考える機会を得ました。また屋久島では、シュノーケリング、カヌー、トレッキングの体験を通して、川や海の美しさ、屋久杉やガジュマルの木の雄々しさなど、自然を身体全体で感じる事ができました。



特攻隊員の想いとは



大自然を体感

私達とあまり変わらない歳の人々が死を考えながら書き、様々な思いがにじみ出た実際の手紙は、よりいっそう現在生きる私達自身のことを考えさせるものでした。自身を省みず、後に生きる家族や友人のことばかり書かれている手紙を見て、彼らとは違い平和な世に生きている私が何も考えずただ生きているだけで良いのかと恥じる気持ちもいただきました。彼らが願った平和な世の中を実現させる助けに少しでもなれるよう、何か成し遂げたいと思いました。 5年4組 小谷 奈々

今回のアクティビティでは、海・川・山のすべてを体験しました。そのいずれの自然においても、威厳を感じました。屋久島には4日間しかいませんでしたが、自然と共生する上で人々が自然と親しみ、怖れを感じながらも創り上げてきた習慣や文化を全身で味わえた研修旅行になりました。 5年5組 新庄 佑理

広島が誇る2つの世界遺産を訪れ、歴史と平和を考えました。宮島の千畳閣では、宮島の歴史を感じながら平和についても考えました。歴史民俗資料館の方から、1945年8月6日の様子について、宮島でも連絡船が揺れたことや船室外にいた人は「熱い、熱い」と言っていたことなどを教えていただきました。宮島から原爆ドームへの移動は、広島湾から本川を経て元安橋を目指すクルーズ船です。船内では、あらかじめクラス代表が録音していた宮島島民の被爆体験文の朗読を聞きました。川面から見上げる原爆ドームは、一層大きく感じられました。国立広島原爆死没者追悼祈念館へと足を運び、爆心地により近い人々の被爆体験を聞き、夏の暑さを肌で感じながら原爆慰霊碑での黙祷、原爆の子の像での折り鶴献納を通して「あの日」への思いを深め、平和への決意をより高めました。



千畳閣で歴史と平和を考える



折り鶴献納

広島を紹介するなら、やはり「原爆ドーム」だと思います。今にも崩れそうな危うさが原爆の怖さを物語っています。観光客にも一度は見てもらい、核の恐ろしさを知ってもらいたいと思います。現地に立ち実際に見ると、かなり深い影響を受けると思います。世界遺産になるとき反対の声も上がったようですが、私は遺産登録をされてよかったですと思います。

1年3組 広瀬 雄翔

私は広島に住んでいるのに、説明を聞いているとまだまだ知らないことが多くありました。これからはヒロシマについてもっと勉強し、広島に住んでいない人だけでなく、広島に住んでいても私のように「まだ知らないことがある」という人たちに、今度は自分が、説明できるようにならなければいけないと改めて感じました。広島には平和を訴えるものがたくさんあるので、これからも広島から平和を発信していきたいと思いました。

1年1組 平賀 凜乃

挑戦することによってわくわく：夏休み外部団体主催プログラム

学校外にも優れた外部団体主催の教育プログラムがあります。なぎさ中高では創立50周年を機に「わくわく教育」を掲げていますが、その一環として、学校外で行われるさまざまな活動に参加することを奨励しています。夏休みを実施された教育プログラムに今年は総勢30名のみなさんが「挑戦」しました。その中からいくつかを紹介します。

平成29年度広島県青少年交流団四川省派遣事業

日程：平成29年8月9日(水)～14日(月) 主な活動場所：中国四川省

今回の派遣事業を通して多くの学びがありました。その一つは、メディアの情報から受ける印象と、実際に自分の目で見て確かめたこととは大きな違いがあるということです。私は日本のメディアは中国に対して好意的な報道が少ないように思います。そのため日本人はあまり中国を肯定的に捉えている人が多くないように思います。とても残念なことです。中国にも日本と交流したいと考えている人は数多くおり、四川省の皆さんとの交流はとても楽しいものでした。特にホストファミリーと過ごした時間は忘れられません。私は今回の滞在中国に対して大変興味がわきました。将来は中国語を話せるようになってから再び中国を訪れたいです。

5年2組 中村 優希

2017広島市・大邱広域市青少年交流事業

日程：平成29年7月27日(木)～31日(月) 主な活動場所：韓国大邱広域市

今回の交流事業への参加は私にとって3回目でした。日本と韓国は隣国ではありますが歴史や文化の違いがあります。例えば、日本では食事の際、お椀を持って食べないと行儀が悪くなってしまいますが、韓国では逆に、お椀を持って食べたら行儀が悪いとなってしまいます。しかしながら、そのような歴史や文化の違いがあつたとしても決して分かり合えないことはありません。自分たちがこれからの友好的な活動や交流を続けていくことが大切だと思います。

5年2組 小林 奏

第7回インド体験・交流会

日程：平成29年8月3日(木)～11日(金) 主な活動場所：インドバンガロール市

9日間という短い期間でしたが、インドと日本の違いについて学ぶことができました。日本ではインドに対するイメージは肯定的なものばかりではありません。例えば、環境、とりわけゴミ問題に対する意識はインドは日本よりも低いと思われています。確かに、インドの人々のゴミを拾う意識は低く、また学校では掃除の時間はありませんでした。しかしながら、訪問した学校や地域では深刻化するゴミ問題の解決に向けて積極的に行動する姿がありました。偏った見方を置き放ち実際に自分の目で確かめることは大切だと思いました。

4年4組 山本 己優菜

無人島体験ツアー

日程：平成29年8月25日(金)～27日(日) 主な活動場所：岡山県釜島

今回の体験を通して新しいことに挑戦することの楽しさや大切さを学びました。3日間の無人島生活にはクーラーはもちろんキッチンも水道もありません。火を起こしたり、井戸から水をくみ上げて運んだり、海や山で食材を集めたりしました。竹や木、海水などそこにあるものを生かして生活をつくります。さまざまな問題がありましたが、仲間と協力して挑戦して生活をつくることができました。島ならではの自然を感じながらも、いつもの生活のありがたさや便利さにも気づかされた3日間でした。

4年1組 照井 真奈

今の私たちの生活は多くの人々の協力や支えの中で成り立っています。農作物を育ててくれる人、さまざまなモノを作っている人、水の管理をしてくれる人、電気を送ってしてくれる人。さまざまな人々の分業によって成り立っています。このような当たり前のことに気づかされた無人島体験でした。私たちの生活に関係しているすべての人に感謝したいと思います。

4年3組 末廣 翔一

「海の日、なぎさへ～NAGISAわくわく体験～」と題して、オープンスクールを開催しました。今年もたくさんの小学生・保護者の方々が来校されました。オープンスクールは管弦楽部の演奏で華々しく開幕し、前半の教科の学び体験からプログラムがスタートしました。教科の学び体験では5教科以外にも、本校独自の科目である「人間」「創造国際」の授業がありました。「人間」ではワークショップを通して協力やコミュニケーションの大切さを考える授業、「創造国際」では、「よく飛ぶ飛行機をつくるにはどうしたら良いか」をテーマにものづくりに挑戦する授業が展開されていました。また社会科では五日市港に來航する豪華客船をテーマに授業をするなど、どの教科もな

ぎさらしく、そして楽しみながら学べる授業が目白押しでした。

後半のクラブ体験では、文化部も運動部も高校生が中心となってそれぞれのクラブの魅力を伝えていました。その中で小学生に丁寧にやり方を教えたり、人数や暑さを考えて臨機応変に対応したり、上手くできたらしっかりと声を掛けてあげる姿も見られました。このオープンスクールでは、クラブ体験だけでなく、受付や交流カフェ、教科の学び体験などいろいろな場面で多くのボランティア生徒が活躍してくれました。来場された小学生や保護者の方々には校舎や授業はもちろんですが、生徒を通して広島なぎさ中学校・高等学校の魅力や、雰囲気を感じていただけたと思います。



管弦楽部の演奏でスタート



人工芝でのサッカー体験



卓球部では基礎から丁寧に



スポーツチャンバラ初体験



「人間」の授業は百聞は一見にしかず



スタンプラリーでなぎさグッズをプレゼント



高校入試に向けて中学生対象の説明会



交流カフェでは実体験を交えての説明



茶道の作法体験

第53回文化祭Information

今年の文化祭テーマは、『唐紅(からくれない)』です。唐紅(からくれない)とは、鮮やかな濃い紅色、深紅色であり、どの色も極めて濃艶で最も印象に残りやすい色とされています。このテーマは5年4組 三反畑 舞さんのアイデアで、「第53回目となる文化祭を、全校生徒の最も印象に残るくらい熱く(唐紅のように)盛り上がる文化祭にしたい」という想いが込められています。皆で力を合わせ、すばらしい文化祭を作り上げましょう。

・1日目

校内発表会

日時：平成29年11月10日(金)
場所：本校体育館

・2日目

一般公開

日時：平成29年11月12日(日)
場所：本校校舎・体育館・グラウンド



平成29年度全国高等学校総合体育大会

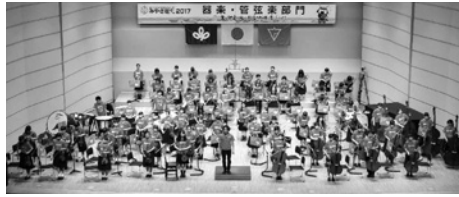


高校硬式テニス部

部門名: テニス競技大会 団体・シングルス・ダブルス
日程: 8月1日(火)～8日(火)
会場: 会津総合運動公園テニスコート・あいづドーム (福島県会津市)

今回全国大会に出場し、自分たちを応援してくださる方々の大切さを感じると共に、全国でもっと戦える、という自信を得ることができました。入賞できませんでしたが、この夏に得た自信がさらなる飛躍の糧となるよう、日々努力したいと思います。今後も応援よろしくお願いします。 5年2組 秋吉 大地

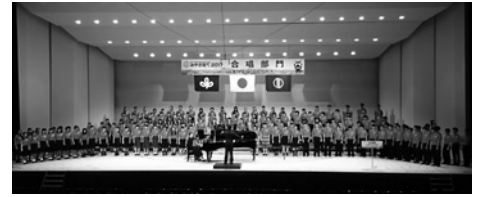
第41回全国高等学校総合文化祭 みやぎ総文2017



管弦楽部

部門名: 器楽・管弦楽部門
日程: 8月1日(火)・8月2日(水)
会場: 岩沼市民会館(宮城県岩沼市)

本番のステージ上で感じた明るい響きと幸福感、そして演奏直後の大きな拍手で興奮が覚めやみませんでした。遠く離れた宮城で、広島らしい音色を会場いっぱい響かせることができ、達成感でいっぱいです。音楽の素晴らしさはもちろん、人の温かみや東日本大震災のことなど、たくさん感じた大会となりました。 5年4組 井野 蒼



合唱部

部門名: 合唱部門 広島県合同合唱団
日程: 8月4日(金)
会場: 東京エレクトロンホール宮城(宮城県仙台市)

全国の高校生たちの素晴らしい演奏を間近で聴き、学びを深めることができ貴重な体験となりました。また、本番では改めて歌うことの楽しさを実感するとともに、歌に対する思いを演奏を聴いてくださった方に届けることができたと思います。みやぎ総文で得た多くのことを大切にしながら、これからの練習に生かしたいと思います。 5年3組 二宮 優衣

CLUB NEWS

高校硬式テニス部

●平成29年度第70回広島県高等学校テニス新人大会 (個人)広島地区予選
日程:平成29年8月21日(月)・22日(火)
成績:男子シングルス
 後藤 深太郎(4-1)・荒井 一貴(5-4)・田中 真於(5-1) 県大会出場
男子ダブルス
 田中 真於・萬谷 颯斗(5-2)ペア 県大会出場
女子シングルス
 西村 茉莉(5-5)・加世田 美友(5-2) 県大会出場
女子ダブルス
 西村 茉莉・松井 江美里(4-5)ペア 県大会出場
 加世田 美友・倉本 結梨(5-1)ペア 県大会出場

高校軟式野球部

●第62回全国高校軟式野球選手権大会広島予選
日程:平成29年7月23日(日)
成績:ベスト8

高校陸上部

●第43回広島地区高等学校新人陸上競技選手権大会
日程:平成29年9月2日(土)・3日(日)
成績:男子
 100m 檀上 壮祐(5-1) 第7位
 走幅跳 福島 康太(5-4) 第6位
 三段跳 坂元 友斗(4-5) 第7位
 200m 渡川 祐人(4-3)
 400m 渡川 祐人
 走幅跳 津川 晃佑(4-1)
 4×100mリレー 春山 佑太郎(5-5)・渡川 祐人、松本 順平(5-3)・檀上 壮祐
 4×400mリレー 春山 佑太郎・檀上 壮祐、福島 康太・渡川 祐人
女子
 400m 難波 彩実(5-2) 第6位
 200m 難波 彩実
 100mハードル 大城 さらら(4-2)
 4×100mリレー 望月 恵(4-1)・難波 彩実、大城 さらら・山本 乃愛(4-5)
 4×400mリレー 望月 恵・難波 彩実、三浦 奏子(4-5)・大城 さらら
 記載全種目県大会出場

中学陸上部

●第44回広島県中学校陸上競技選手権大会
日程:平成29年7月15日(土)・16日(日)
成績:100m 山田 千尋(3-1) 第5位
 ●第65回広島市中学校総合体育大会陸上競技の部
日程:平成29年8月26日(土)・27日(日)
成績:高学年女子
 100m 山田 千尋 第4位
 100mハードル 山田 千尋 第2位
 4×100mリレー 柳生 彩水(3-1)・山田 千尋・村中 瑠莉(3-5)・石松 桜杏(3-1) 第8位
 1年女子
 80mハードル 渡川 美優(1-3) 第2位
 4×100mリレー 吉本 茜(1-2)・渡川 美優・首藤 有葉(1-2)・松本 華綸(1-5) 第8位

スポーツチャンバラ部

●第17回広島県スポーツチャンバラ選手権大会
 第15回呉市スポーツチャンバラ大会
日程:平成29年7月16日(日)
成績:《小太刀の部》
 引地 康(4-2) 優勝
 古川 尚弥(4-2) 準優勝
 平田 悠人(4-1) 3位
 市頭 教晃(1-3) 敢闘賞
 《長剣の部》
 古川 尚弥 優勝
 平田 悠人 準優勝
 佐藤 大河(1-6) 3位
 伊東 大智(4-4) 敢闘賞

中学柔道同好会

●平成29年度広島地区柔道月次試合7月の部
日程:平成29年7月17日(月)
成績:2・3年生の部 内之丸 凜(3-4) 優勝

社会体育(中学水泳)

●平成29年度広島市中学校水泳競技選手権大会
日程:平成29年6月17日(土)・18日(日)
成績:女子総合 第6位
 200m背泳ぎ 柗井 萌(3-5) 第1位
 大会新記録 県大会出場
 200m個人メドレー 柗井 萌 第1位
 大会新記録 県大会出場
 100m背泳ぎ 原 歩那(2-4) 第3位
 県大会出場
 200m背泳ぎ 原 歩那 第2位
 県大会出場
 100m平泳ぎ 岬 涼寧(2-4) 県大会出場
 50m自由形 北山 佳歩(1-5) 第6位
 県大会出場
 200m個人メドレー 北山 佳歩 県大会出場
 ●第57回広島県中学校水泳競技選手権大会競泳の部
日程:平成29年7月22日(土)・23日(日)
成績:200m背泳ぎ 柗井 萌 第1位 中国大会出場
 200m個人メドレー 柗井 萌 第1位 中国大会出場
 200m背泳ぎ 原 歩那 第7位
 50m自由形 北山 佳歩 第10位
 ●第65回広島市中学校総合体育大会水泳競技の部
日程:平成29年7月27日(木)・28日(金)
成績:200m背泳ぎ 柗井 萌 第1位
 200m個人メドレー 柗井 萌 第1位 大会新記録
 100m背泳ぎ 原 歩那 第4位
 200m背泳ぎ 原 歩那 第4位
 50m自由形 北山 佳歩 第5位
 100m自由形 北山 佳歩 第9位
 ●第51回中国中学校水泳競技選手権大会
日程:平成29年8月4日(金)・5日(土)
成績:200m背泳ぎ 柗井 萌 第2位
 200m個人メドレー 柗井 萌 第2位
 ●第66回広島県中学校総合体育大会水泳の部
日程:平成29年9月2日(土)・3日(日)
成績:200m背泳ぎ 柗井 萌 第1位
 200m個人メドレー 柗井 萌 第1位 大会新記録
 200m背泳ぎ 原 歩那 第7位
 50m自由形 北山 佳歩 第9位